赤塚中学校だより　「赤中プライド」
平成２８年１２月３日
HPアクセス数　１５７２８０
「時間を守る」「話をきちんと聴く」「清掃にしっかりと取り組む」　No.３２

赤塚中学校区「連携型小中一貫教育研究発表会」を行い，４校の児童生徒が取組を発表しました。

１１月３０日（水），午後から水戸市総合教育研究所にて，平成26～28年度水戸市教育委員会指定の赤塚中学校区「連携型小中一貫教育研究発表会」を開催しました。水戸市の小・中・義務教育学校の先生方を始め，他市町村の先生方，赤塚中学校４校の保護者の皆様に参加いただき，３年間の取組を発表しました。

赤塚中学校区では，平成26年度からの３年間，「意欲をもって主体的に取り組むことができる児童生徒の育成を目指して」を研究主題として実践研究を行ってきました。

昨年度からは，特別活動にも視点を当て，一人一人の児童生徒が自分なりの意見や考えが持てるよう実践してまいりました。特に，児童会や生徒会の活動に力を入れ，放課後等を活用して，リーダー会議を原則年３回設定して取り組んでまいりました。各校の取組について情報交換をすることで，最近では，自分たちの学校ばかりでなく，赤塚中学校の学区全体をより良くしていこうとする気持ちが育ってきていると実感できるようになりました。今回は，その様子を伝えたいと思います。

⇧ 赤塚中学校の取組発表

赤塚中学校の課題は「学力の向上」です。生徒達の工夫から「アカナビ」が生まれました。

「アカナビ」の紹介

赤塚中学校の発表は，生徒自らが考えた内容で，パワーポイントを使っての報告でした。講師を務めてくださった茨城大学教育学部の准教授　杉本憲子　先生からは「インタビューやアカナビ作成など自分たちの手作りでの報告であったこと」「小学校での経験が発展的に生きていること」など，お褒めの言葉をいただきました。（生徒の皆さんが帰ったあとの指導講評の時間でした。）

児童の取組の時間には，中学生が進行を務め，自分たちの手で学校を作り上げていくといった気持ちが十分に表れていました。

⇧ 進行

＜各小学校での取組＞

「学年・男女関係なく思いやりをもって活動し絆を深めよう」

「なかよし班活動を充実させよう」

「そうじの達人になろう」

各小学校では，子どもたちなりに，１年生からの各学級で話し合いを行ってもらい，自分たちの学校の課題を決めてきました。その後，それぞれの小学校ならではの課題に，リーダー会議で得たアイディアや意見を取り入れ，改善に向けた実践を行ってきました。

各学校とも，成果が見られたことと，まだまだ改善が必要なことに分けて報告を行いました。この各学校の６年生が来年の赤塚中学校の新入生です。来年度の新１年生の活躍も楽しみです。

大役を終えた生徒達